

第6号



ニュース

ニュース

加盟団体

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島 ソフトテニスクラブ
- ・ JTサンダース
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ 湧永製菓
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ 広島東洋カープ

中国地区総合選手権



バドミントンの中国地区総合選手権は8月28日から3日間、島根県松江市鹿島総合体育館で開かれ、広島ガスがシングルス、ダブルスとも優勝した。

シングルスは後藤が1セットも落とさず完全優勝。ベスト4を独占したダブルスは日野・小池組がチームメートの寺本・井上組を下した。

《シングルス成績》

▽1回戦 小池(棄権)
藤井(鳥取)▽2回戦
後藤2-0飯塚(島根)、
本山2-0重村(山口)、
早川2-1井田(鳥取)、
井上2-0小林(岡山)、
橋本2-0越智(山口)、
寺本2-0大江(島根)
▽3回戦 後藤2-0
山本(鳥取)、本山2-0
吉岡(島根)、早川0-2
藤原(鳥取)、井上0-2
丸岡(島根)、橋本2-0
山本(島根)、寺本0-2
垣岩(鳥取)

▽準々決勝 後藤2-0藤原(島根)、
本山0-2藤原(鳥取)、橋本2-0
丸岡(島根)▽準決勝 後藤2-0
藤原(鳥取)、橋本1-2宮崎(棄権)
藤原(鳥取)▽3回戦 橋本(棄権)
藤原(鳥取)▽決勝 後藤2-0
宮崎(鳥取)

《ダブルス成績》

▽2回戦 早川・橋本2-0安田・早川(鳥取)、
寺本・井上2-0石原・小林(岡山)、
後藤・本山2-0足立・田村(鳥取)、
日野・小池2-0飯塚・三島(島根)
▽3回戦 早川・橋本2-0中村・越智(山口)、
寺本・井上2-1山本・地神(鳥取)、
後藤・本山2-0田中・垣岩(鳥取)、
日野・小池2-0重村・松尾(山口)
▽準々決勝 早川・橋本2-0藤原・宮崎(鳥取)、
寺本・井上2-0藤原・山本(島根)、
後藤・本山2-0末長夏・末長南(山口)、
日野・小池2-0大田・川下(広島)
▽準決勝 寺本・井上2-1早川・橋本、
日野・小池2-0後藤・本山
▽3位決定戦 早川・橋本2-1後藤・本山
▽決勝 日野・小池2-0寺本・井上

単・複とも制覇、複は4強独占

サマーリーグ V3



23歳コンビが躍動

3年連続4度目の優勝を飾ったJT

国近が最優秀選手賞

バレーボールのサマーリーグ決勝リーグは12、13日、神奈川県藤沢市の秩父宮記念体育館で開かれ、1次リーグ西部1位のJTはジェイテクトと2勝1敗で並んだが、セット率で上回り、3年連続4度目の優勝を飾った。

最終戦のつくばユナイテッドに敗れたが、3試合を通して23歳コンビのウイングスパイカー、国近、塚崎が躍動、国近が最優秀選手賞に輝いた。

最優秀選手賞を獲得した国近



《決勝リーグ成績》

○3-0FC東京 ○3-1ジェイテクト ●2-3つくばユナイテッド
▽順位 ①JT 2勝1敗②ジェイテクト 2勝1敗③つくばユナイテッド 1勝2敗④FC東京(1、2位と3、4位はセット率による)



強いッ 3位

9戦●なし 同一シーズン
クラブの最長記録塗り替え

Jリーグも終盤戦。サンフレッチェは残り8試合となって3位をキープ。9戦負けなしと同一シーズンのクラブ最長記録を更新した。また、9戦負けなしはJリーグがスタートした1993年第2ステージ第16節から翌年第1ステージ第6節までシーズンをまたいだクラブ記録のタイ記録でもある。

今後は頂点を目指しての戦いで伸び盛りのチームの勢いを継続できるか。楽しみいっぱい8試合となる。

中国ミニ国体

「トキはなて 君の力を 大空へ」をキャッチコピーに9月26日から10月6日まで新潟県内で開かれる「トキめき 新潟国体」への出場権を争う中国地域予選(中国ミニ国体)は8月21日から3日間、島根県内で行われた。トップス広島加盟の5競技・6チームはいずれも出場権を得た。



3位で出場権獲得

《成年女子》=リーグ戦

- 2-1 山口、○2-1 島根、○3-0 岡山、●1-2 鳥取▽順位
- ③3勝1敗(2位とは得失点差による)
- ※メンバー 小池、井上、後藤



男子1位、女子2位

《成年男子》=団体リーグ戦

- 3-0 島根、○3-0 山口、○3-0 鳥取、○3-0 岡山▽順位
- ①4勝
- ※メンバー 中堀、水沢、原、岩永、高川

《成年女子》=団体リーグ戦

- 3-0 島根、○2-1 岡山、○3-0 鳥取、●1-2 山口
- ※メンバー 佐々木、山本、埜田、大庭、熊鳥、水間



決勝、山口に苦戦

《成年男子6人制》

- ▽準決勝 ○3-0 岡山▽決勝 ○3-2 山口
- ※メンバー 宮下、町野、酒井、丹山、徳元、中山、直弘、国近、塚崎、石橋、井上



順当に2勝挙げる

《成年女子》

- ▽準決勝 ○4-0 鳥取▽決勝 ○2-0 島根
- ※メンバー 山本、荒木、善行、中里、柏、亀崎、大田、前田、小野、山下、為藤、真武、吉川、山口



山口に貫禄勝ち

《成年男子》

- ▽1、2位決定戦 ○25-20
- ※メンバー 山中、木村、坂本、武藤、今井、東長浜、福田、志水、新、古家、谷村、松村



鳥取・山口に完勝

《成年女子》

- ▽準決勝 ○57-16 鳥取▽決勝 ○34-19 山口
- ※メンバー 堂面、土屋、村山、新城、大前、植垣、伊藤、河田、栗本、石山、安斎、梶川



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

トップスの仲間 新潟ではばたけ

初戦のH・F・C-HANNO線で攻め込む善行(右)



全日本社会人選手権

ホッケーの全日本社会人選手権は12日から5日間、千葉県いずみ市大原グラウンド陸上競技場などで開かれ、コカ・コーラウエストレッドスパークスは2年連続3位となった。優勝はソニー宮で、4年連続19度目。準決勝をPS戦で涙を飲んだが、3位決定戦では亀崎の決勝ゴールでグラクソ・スミスクリラインを下した。

2年連続の3位

4強入りしたコカ・コーラウエストレッドスパークスは1月に奈良県で行われる全日本選手権への出場権を獲得した。ここで念願の初優勝を狙う。

《全日本社会人選手権 成績》

- ▽準々決勝 ○3(0-0、3-0)0H・F・C-HANNO
- ▽準決勝 ●1(0-0、1-1、延長0-0)1南都銀行 PS2-4
- ▽決勝 ○1(1-0、0-0)1グラクソ・スミスクリライン

出足まずまず LEOLIC

ハンドボール日本リーグは5日開幕。男子の湧永製薬、女子の広島メイプルレッズとも黒星発進となったが、12日の地元開幕戦ではそれぞれ初白星を挙げた。湧永製薬は5連覇を目指す大同特殊鋼と初戦で対決。26-32で敗れた。続く豊田合成線は地力を発揮、39-23で解消した。



ピンチ! 湧永・吉田が代役GK

12日の地元開幕戦、豊田合成との戦いで湧永製薬の吉田がGKを務めた(写真中央)。GK2人のうち志水が試合直前の練習中に右足甲を骨折、急きょ代役を務めることになった。

後半23分に松村に代わって登場。3分後には会心セーブ。さらに1分後にも右足で相手シュートを防ぎ、観客から拍手を浴びた。

吉田は「まさかコートに立つとは…。難しいですね」と苦笑いだった。

日本リーグ開幕

攻守に精彩を欠く

メイプルは2戦目の三重には28-27で白星を挙げたが、北国銀行に28-34、オムロンには17-33と攻守に精彩を欠き大敗した。